

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ドリトルハウス向日		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 6日		2026年 3月 6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	2026年 2月 6日		2026年 3月 6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	曜日ごとに支援内容が分けられています。 月：ストレッチ、ダンス 火・水：運動 木：制作、SST 金：調理 土：調理、外出	・各活動はご利用者の希望も取り入れながら、参加しやすい方法を考えながら内容を考えています。 ・個別の課題を設定しつつ、集団での活動に入っていくことができる様に日々の支援を行っています。 ・ご利用者の様子を見つつ適した曜日への異動も相談しながら行っています。	各曜日の取り組み内容の明確化を進め、ご利用者や保護者の方にも内容の共有を図っていきます。
2	会社内に他の放課後等デイサービスや相談支援事業所、児童発達支援事業所、就労継続支援B型事業所があり、未就学児から成人の方までを意識した支援の考え方の共有ができます。	・ご利用者の発達段階やご家庭の状況を考慮し、どのような支援が適切かを自身の事業所以外の考え方も参考にしています。	内部研修の機会を増やし会社としての支援の質を高めていきます。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援の取り組みや研修の機会の情報共有に関して、ご本人、保護者の方に伝えきることができていない部分があります。	支援を行う事だけに力を入れすぎている所があり、何をどう行ったかまでを伝える機会が少なくなっていると思います。	再度送迎時や面談時に計画の進捗度や何をどう行ったかの説明をどのように伝えるかを決め、職員間でも共有を行っていきます。
2			
3			